



第二皇子御降誕を

奉祝する平町の催

縣社に奉祝祭後祭樂館で賀宴
晝は旗、夜は提灯行列

平町では第二皇子御降誕の御慶事に對し奉祝の儀を行ふべく今三十日午後一時同町會議室に區長會を招集、協賛の結果来る四日の御命名式當日に午前十時縣社子鏡會社に町民一同參列奉祝祭の執行を終つて同十一時樂館に移り青沼町長奉祝文を捧讀、皇室の萬才を三唱、祝宴の後全町民の旗行列を行ひ夜は同じく提灯行列をなすこととなつたが當日の平町祝賀氣分に横溢し近頃でない賑はひであらう。

氣好の炭

入山坑で川平に

新規事業の計画
年末からの毎月出炭六千噸
經費七萬圓で第二坑開鑿

石城の各炭坑は石炭の需要盛つて置きもので毎月二千萬噸期に入り非常な活況であるが各炭坑に採掘機を成るべく現狀に止め出炭能率の増進に腐心し割合新規計畫の少ない中に常磐炭田優位の業額を持つ續する湯本町の入山採炭に於ては需要増の現狀に對し到底前記の採掘工作では供給に應じ得ず舊第二坑川平に隣る數萬坪の炭區に施業の計畫を案じ吉田所長及び大貫副所長の建築に既し重役會の同意を得て急遽準備に着手することになつた新規事業の右川平坑は現に入山の専用線を有し開坑着炭のまゝ残された謂はゞ取

刊日 日三十一月一十
日一廿月三年五和昭
発行所 新島平町大字二二三
電話 新島平町大字二二三

クリテックは批評または批評的の意だ、クリテックと云へば批評家、評論家、鑑定家、批評學、鑑定學の類でクリテシズムなら同じ意味の主義または方法のことである。

部に位置し事務所並びに長屋四十戸の新築及び諸機械採炭場等の設備その他を合せて約七萬圓を要するものゝ如く本年末頃からの採炭作業を見込む毎月出炭六千噸の豫定を以て向後十年の繼續を可能とされ所要労働者全部を新規雇用の客であるが年久しく昔の賑はひを消した川平は炭坑の景氣來に再び一と花を咲かせられる譯である

平町の合併に關し

昨日神谷でも村會

替否両論對立のまゝ、散會
實現迄には相當の日子
石城郡神谷村では平町の市制施行計畫に合併の交渉に接した編入區域に關し時二十九日村會を開いたが合併のものに對して認議が充分でない結果意見區々のため再會に譲つ日子を要するであらうと

植田勿來の兩市場

愈々表面的に合併

兩者主腦部間の意見一致
勿來は集荷場で藪取扱
石城郡南に於ける植田、勿來なし諸經費の削減を圖る模様で困難とされ早くより相携へて經營したつたが愈々表面的に單名一休の機を熟しする二十八日植田市場に兩者の主腦部を開き合併の意見一致を見たので勿來側では今三十一日幹部會を開き植田側では一兩日中に同じく幹部會の議に附し共に合併條件を決した上各總會に諮りスピード的にその運びを見るものゝ如く合併後に於ける勿來市場は集荷場の名を以て取扱ひを繼續

問題の炭區に

試掘願

平町では來月二日町會召集に決したが提案は昨報の外に同町地下採掘問題として賑がれてゐる磐城炭礦出願の南裏石炭炭礦區に對する権利繼承の試掘願が出た諸問答申を附議の答だが同炭坑に於ても町の反對から採掘を見合はせられたものゝ如く町としては先越の苦慮はあるが右試掘には異議を忍ぶ事になる模様である

平町陪審員

當選者

平町に於ける陪審員候補者抽出は昨二十九日資格者五百三十二名(九月一日現在)に對して行はれたが左記十三名の當選者決定した

四倉信用組合

通常總會

今日理事監事評
定員の満期改選

石城産業中央

部會の総會

石城郡産業組合部會が東西南北及び中央の五部に分れる中央部の内郷、好間、赤井、小川、平窪、高久、夏井の各組合は明日午前十時から平

納税週間ポスタ

に賞品

石城郡小學校では納税獎勵週間施行に當り高等科二年生から右週間ポスターを募集したが此の程優秀作品左記四生に

東亞覺醒の時機

民族

吾人の親族である、兄弟である、吾等吾人自身である「光は東方より」...現に世界の文明は東方に源泉してゐる

松林に娘の縊死

の判らぬ無心

石城郡湯本町の入山第四坑東區五三三の一〇居住齋藤冬吉長女せつ子(四)は本年八月二十一日町内字上町六二周旋業高木數の世話で東京市本所區東兩國二二三津屋敷小林喜代方へ三十圓の借金を以て女中奉公を勤めてゐるが最近高木から病氣の爲め困つてゐるから現金二、三十圓を送つて呉れるかさもなくば當人を一時貸して貰ひたいとの書信あるも誰の病氣やら明らかでない且つ手紙の節に不審の點ありと小林から今三十日平署へ實否の調査方を願出た

小名濱測候所 週間 氣温表

日	最高			最低		
	本	年	平	本	年	平
廿三日	6.6	14.2	12.2	0.6	2.6	2.5
廿四日	7.9	13.2	14.4	4.5	1.8	0.9
廿五日	9.5	14.4	14.5	3.2	0.9	3.2
廿六日	10.1	17.4	14.5	7.4	6.8	3.0
廿七日	8.2	15.5	14.5	6.8	3.0	3.7
廿八日	8.7	14.5	14.3	4.1	3.0	4.1
廿九日	10.0	14.4	14.4	3.7	3.0	4.1
三十日	10.0	15.2	14.3	4.1	3.0	4.1
三十一日	8.3	14.3	14.3	3.7	3.0	4.1
一月一日	7.3	11.4	13.9	3.0	3.0	4.1
一月二日	7.7	13.9	14.3	4.1	3.0	4.1
一月三日	9.9	13.4	13.2	6.1	3.5	2.9
一月四日	18.5	13.2	14.2	3.5	2.9	2.9
一月五日	18.4	14.2	14.2	6.8	3.7	3.7
一月六日	12.1	18.3	13.3	6.9	3.7	3.7
一月七日	11.0	14.2	15.2	4.9	3.7	3.7
一月八日	9.4	14.2	15.2	11.4	4.0	4.0
一月九日	9.2	14.8	14.3	4.0	4.0	4.0
一月十日	12.0	14.0	14.3	4.0	4.0	4.0
一月十一日	13.0	14.3	14.3	4.0	4.0	4.0
一月十二日	9.1	14.3	14.3	4.0	4.0	4.0

御祝儀の鮮魚代を借倒す

石城郡上小川村の上平魚行商齋藤寅吉は去る五月二十四日四倉町字堀川魚商根本金太郎方に至り祝儀用のものであると鮮魚十三圓三十錢分を調はしめ代金は現品と引換えに支拂ひを受け三日以内に勘定するものゝ如く稱へ持去つたまゝ再三の請求に對し今日に至るも言を左右にして支拂はざる爲め今三十日金太郎から

娘の奉公先へ譯

石城郡湯本町の入山第四坑東區五三三の一〇居住齋藤冬吉長女せつ子(四)は本年八月二十一日町内字上町六二周旋業高木數の世話で東京市本所區東兩國二二三津屋敷小林喜代方へ三十圓の借金を以て女中奉公を勤めてゐるが最近高木から病氣の爲め困つてゐるから現金二、三十圓を送つて呉れるかさもなくば當人を一時貸して貰ひたいとの書信あるも誰の病氣やら明らかでない且つ手紙の節に不審の點ありと小林から今三十日平署へ實否の調査方を願出た

吾人の親族である、兄弟である、吾等吾人自身である「光は東方より」...現に世界の文明は東方に源泉してゐる

吾人の親族である、兄弟である、吾等吾人自身である「光は東方より」...現に世界の文明は東方に源泉してゐる

産業方面

農村に於ける 搾油副業

(2) 縣農試加藤生
また重要率に於ては良茶
種では三割三分内外、不良茶
原料でも二割六分内外、粕は
原料重量の六割内外である、
尙ほその他の作物につき油の
用途並に容積全歩止まりを示
せば左の如くである、

- 落花生油(主要用途食用)油
全歩止二六%内外
- 胡麻(副食用)二八%内外
- 大豆油(主要用途種々)一〇
%内外
- 荳油(同上塗料)一六%内外
- 桐油(同上毛髮用)歩止一五
%内外

一、茶種搾油
茶種搾油設備はその規模の
大小により異なるが搾油器と
之れに附屬する搾り道具は
(炒釜、壓搾機、茶器等)が何れ
の場合も必要である、搾油操
作は大体次の如くである、

- 原料(精製、乾燥)炒釜に壓
搾し蒸熱し壓搾し(一番搾
り油沈み一番搾り粕)粉砕し
澄湯過)
- 炒釜に蒸熱し壓搾し(二番搾
り油)沈み澄湯過、二番搾り
粕)粉砕し袋詰)
- (一)精製、乾燥、原料茶種
中の土砂埃等は篩或は唐箕
の如きで充分精製し晴天延干
三日間位よく乾燥すること乾
燥不充分なる茶種は貯蔵中微
が生へて搾油すれば油の色合
及び香味悪く油の歩止り大に
減少するから原料茶種の精製
並びに乾燥には特に留意する
こと、
- (二)炒釜はうるじること精
製原料茶種の水分發散と通過

發揚のため先づ炒焙すること
ほうじるには人力用簡單搾油
機による量少なき場合は徑二
尺位の「ほうろ」または鍋でも
その目的は達せられるが動力
用の場合は稍大型のものは徑
三尺乃至四尺深さ一尺五寸位
の多肉の鐵製で攪拌羽根付の
ものにして一日原料十石位の
能力あるものを用ひ動力は〇
二馬力内外を要する、



油問屋 關内油店

支店 平野町三丁目
支店 電話長三二八
支店 電話長三二八
支店 電話長三二八
支店 電話長三二八

ガソリン
モビール油
石油株式会社
日本株式会社

一般印刷物も
御引受け致します
新しいわき新聞社
印刷部

お醤油は ヤマフル

醤油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

明治生命磐城代理店

山崎與三郎

山崎合名會社

スペインG・H・N 元詰 ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒 1・10
婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そう佳良です
(平2) 西村屋藥舖 (電3)

正	正	正	る	食	し
し	し	し		事	づ
い	い	い		の	か
酒	喫	食		出	に
場	茶	堂		來	

平田町
レストラン サロン
電話三五二

新案特許
防寒眞綿入肌着
柔軟にしてお召し心地よく軽
くて暖かく眞に理想のお肌着
シャツ ¥5.00 5.50
チヨツキ ¥3.50 4.50
ベツチ ¥3.80
お洗濯は手軽に出来ます。
ツルヤ
平四 電話一四〇番

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
平野町南 電話二五八番

農村の更生振興に
天然加里肥
最も適應する作物!
蔬菜 馬鈴薯 里芋 しやうが類
瓜果類ではトマト 茄子の如き比較的病害に弱い
作物に施用すれば抵抗力を興へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
如何に施用しても土壌を悪變する虞は絕對にあり
ません
一俵 廿五錢
製造販賣 金成國雅
平野町 電話 六八八番

便利で
經濟な
日下家政婦會の
● 派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから
何を任せしてもご安心です
會員(同志の
御加入を御誘
ひ致します
ひ致しなす
暇に裁縫や
編物に裁縫や
編物を御教
授致します
平野町十八番地(西村屋横町)
日下家政婦會
會長 日下すい子
電話(呼)一八九番

債券公債 両替 金融
多田井質店
平野町大工町 電話五九一番
診療科目
一、齒科 一般
保存科、補綴科、齒齦架工科、
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口 腔 外 科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科 中野 惠次
醫學士 日本齒科 西 川 誠
平野町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

洋服は
高島屋
注文並に既製品
冬物 入荷
高島屋洋服店
平野町二丁目 電話三八六

高島屋
本店
平野町五丁目 電話三八六

鼻の諸病に快鼻湯 有効保證
本藥は漢方醫の方劑で鼻病の爲めゆ々の外用藥並に内
服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發されし方々
も本劑の服用により快癒された喜びの輪が各地から
寄つて居ります
効 能
蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症
頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨彎曲症、
並に中耳炎に神効の實證を受く
(快鼻湯)
製劑販賣元 水野藥局
磐城平野町一丁目 電話六九九番
振替口座仙台八八七六番